

盆地なのに「平野」、 平野なのに「盆地」

日

本には平野とともに「盆地」も多い。周囲を山地に囲まれていなければ盆地ではないのかという点、必ずしもそうではなく、外国には海に面した盆地もある。フランスのロアルド盆地や、アキテーヌ盆地は大西洋に面している。岩手県の北上川流域にある北上盆地を、北上平野とも呼んでいる。また、鹿児島県の川内平野を川内盆地ともいう。

大阪平野は地形学的には大阪盆地とも呼んでいる。西側は大阪湾に面しており、どうみても平野なのだが、大阪湾沖に浮かぶ淡路島に囲まれているので、地形的には盆地と似ている。大阪平野は寒暖差が大きく、降水量が少ない盆地に似た内陸性の気候をみせる。

日本にある盆地の多くが断層盆地だ。断層盆地は断層運動によって生じた盆地で、周囲の一方が断層崖になっている。京都盆地や奈良盆地、近江盆地、諏訪盆地などは断層盆地である。盆地は周囲を山地に囲まれているので、外敵の侵入を防ぐ砦としての要素も備えている。そのため、城

日本には多くの盆地があるが、その多くが断層運動によって生じた断層盆地である。

下町の多くは盆地に形成されている。他の地域とは山で隔てられているので、独自の文化が発達した。今も盆地には数多くの伝統行事や、伝統工芸品などが残っている。

普通、盆地は平野より標高が高いところにあるが、外国では平野より標高の低い盆地もある。たとえば、中国の北西部にあるトルファン盆地は、最も低い地点は海拔マイナス155m、イスラエルとヨルダンの国境に横たわる死海は海面下420mにある。死海の周囲は広大な盆地である。

全国で最も標高の高い盆地は長野県にある。県のほぼ中央に横たわっている諏訪湖の湖面標高は759m。その周囲を取り囲んでいる諏訪盆地は、標高760〜900mの平地に広がっている。松本盆地（500〜800m）、佐久盆地（600〜800m）、伊那盆地（600〜700m）など、長野県にある盆地はどれも標高が高い。標高が500mを越えるのは、そのほかでは岐阜県の高山盆地（550〜650m）がある。京都盆地や奈良盆地、山口盆地、大洲盆地などは標高が50mにも満たない。

日本のおもな盆地 (標高200m以上)

